

種名	トノサマバッタ <u>Locusta migratoria</u> 
分類	バッタ目バッタ科
形態的な特徴	体長 48～65 mm。体は褐色および緑色。前翅は淡褐色の地に暗褐色の斑紋がちらばる。後翅は黄色で、黒斑がなく透明。前胸背の正中隆起線は横溝でえられる。
分布	北海道、本州、四国、九州、対馬、沖縄本島、奄美大島、伊豆諸島に分布。
繁殖行動	成虫は6～10月に出現する。孤独相と群生相がある。後者は大群で移動し作物に被害をあたえる飛蝗として知られる。
生息場所	草地に生息する。
食性	
生息環境への配慮事項	
その他	
引用文献：改訂新版 世界文化生物大図鑑 昆虫 チョウ・バッタ・トンボなどを改変	